

すめられると假定すると、ある場所では建設が非常にすすんでゐるが、ある場所では一向にはかばかしくないといふやうな事態が生れたり、またはゴムやアルミニウムは餘るくらゐになつてきたが、鐵や棉はいつまでも不足してゐるといふやうな片かんばな開發がすすまないとも限らない。もちろんかかる極端な例は、實際問題としてありうることでなく、また、あつてはならないことであるが、それでも、建設途上においては、めだたなかつたことが計畫性の缺如のために、いざでさあがつたものを見ると、どうもしつくりしないといふやうな例はまゝ見受けられるところであつて、人も金も物も、最大限度に利用しなければならぬといふ戦争遂行中にあつては、かかる些細な行違ひすらも絶対に避けなければならぬものである。平時ならば、いままでの自由主義經濟理論がやかましく説きたててきたやうに、需要供給の關係によつて、生産も次第に調節されてゆくことであらうが、戦時にあつてはそんな悠長なことはいつてはゐられない。

國土計畫は、その性格の一つとして総合性といふものが絶対不可欠のものとなつてゐる。一つ一つの政策なれば、政府の行政が臨機、時に應じてこれを十分に解決してゆくこともできるが、物事を総合的に勘案して、過不足のない渾然たる一つのまとまりを作りあげるには、何といつても各部門に互る基本計畫といふものが必要となつてくる。たとへば、共榮圏の指導者たる大和民族の配分を考へ、民族發展の永遠性を考へる時は、これをいづれの地方に進出せしむるかの大方針がまづ決定し、經濟開發・文化工作もこの線に添ふて遂行されてゆくやうになる。またたとへば經濟開發がすすめられる際にも、以上のやうに人口政策と關聯し、また高度國防といふ國防體制と關聯して総合的に勘案されなければならないのである。

大東亞國土計畫の必要性も右のやうな立場から要求されてゐるのであつて、可及的すみやかに大東亞の國土計畫を樹立し、これに則つて、これを基礎として共榮圏建設の大業がすすめられてゆく時に、曠古の大事業たる共榮圏の發展は、永遠に強